

第5学年○組 国語科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 単元 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう
「固有種が教えてくれること」

2 本単元の指導にあたって

○児童観

本学級の児童は、これまでに、説明的文章の学習において、事実の中心や筆者の主張の中心をとらえて要旨をまとめることができるようになってきている。また、原因と結果を本論の文章の中から見つけ出し、主張とのつながりから要旨に必要な情報かを判断する学習経験も行っている。そこで、他教科の学習においても、複数の資料や情報から読み取った内容を結び付けて考えを深めることができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、主張が伝わるための効果的な資料の用い方を理解し、国語科だけでなく他教科においても、自分の主張と根拠として資料を用いることができるようにする。このことは、既習の説明文との相違点から学習課題を見だし、主張と資料の関係や筆者の意図について自分の考えを形成する子どもを育てる上からも意義深い。

○教材観

本教材においては、筆者の主張が伝わりやすくなるための工夫について、図表や統計グラフなどの資料を文章に関連させて読んだり、本論を二つに分け論を展開する筆者の意図を追究したりする過程で自分の考えを形成する力を育むことができるという価値がある。

本単元に関しては、第4学年「アップとルーズで伝える」の学習で、写真と文章を照応させながら内容を読んだり、段落の役割を意識して文章構成をとらえたりしてきた。また、双括型の文章構成に出会い、初めと終わりで主張を述べることは読者への説得力を強化するというよさも実感してきている。本単元ではこれらの上に立って、主張を読み手に納得させる二段構えの論構成の工夫や資料を用いた効果について自分の考えをもつことをねらいとしている。このことは、第6学年で資料に対する筆者の見方をとらえ、そのことに対する自分の考えを形成していく学習へと発展していく。このことは、次単元の資料を活用して自分の考えを記述する学習へと発展していく。

○指導観

本単元の指導においては、書かれている内容を基に要旨にまとめるとともに、主張を読み手に納得させる二段構えの論構成の工夫や資料を用いた効果について自分の考えをもつことができるようにしたい。そのために、各段落の中心文を基に一文要約したものを文章構成図に整理し、要旨をまとめたり、筆者と読者の両方の立場から資料の効果や七段落を転換点として中が二つに分かれている論展開のよさを追究したりする活動を構成する。

特に本時では、中①で固有種の貴重さを読者に納得させたうえで、中②で生息環境の保護を訴え、主張につなげるという筆者の論構成の工夫を読み取ることができるようにしたい。そのために、まず、「三輪スタンダードであう段階」では、文章構成図を用いて、中②だけでも文章は成り立つことを確認し、筆者は何のために中①を書いたのか考えるという見通しを持てるようにする。次に、「三輪スタンダードつくる段階」では、考えを作る際のキーを提示し、読者の視点で中①がなければ固有種が貴重な存在だということが伝わらなくなることに気付くことができるようにする。そして、「三輪スタンダードふかめる段階」において、筆者の立場から主張と中①の関係を見直させる発問をし、中①で固有種の貴重さを読者に納得させた上で、自ら固有種がすむ環境を残していこうと思えるようにするために中①を書いたという論構成に気付くことができるようにする。最後に、「三輪スタンダードふりかえる段階」において、まとめに繋がる内容を確認することで、自分で学習内容をまとめ、自分の学びを振り返ることができるようにする。

3 目標

(1) 文章と図表等を結び付けて内容をとらえ、読者に主張が伝わりやすくするための文章の構成や展開を理解することができる。

(知識及び技能)

(2) 読者や筆者の立場に立って、資料を用いた文章の効果や論の進め方の工夫を読み取り、筆者の意図を自分なりに表現することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 「固有種」が何を教えてくれるのかに関心を持ちながら、意欲的に文章に関わり、筆者の説明の仕方とその効果について、積極的に交流したりまとめようとしたりする。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画（総時数 8時間）本時⇒●

次	学習活動・内容	主眼	三輪スタの活用方法
一 ②	①全文を通読し、初発の感想を書く。	○既習の説明文との違い、内容や述べ方で分かったことや疑問に思ったことという観点で初発の感想を書くことができる。	三輪スタ（であう①） ・既習の説明文との違いを比較することによって、資料がある説明文を読み進めるための課題を持つことができるようにする。
	②交流の中で出てきた疑問や課題などを踏まえて、学習課題を立てる。	○出し合った疑問を整理し、学習の見通しを持つことができる。	
二 ③	③中心となる文を見つけることを通して、文章構成図に内容をまとめる。	○文章構成図を使って文章の内容をまとめることができる。	三輪スタ（つくる） ・要旨をまとめるときの大事なキーを提示することによって、要旨をまとめることができるようにする。
	④中心となる文を見つけることを通して、文章構成図に内容をまとめる。	○文章構成図を使って文章の内容をまとめることができる。	
	⑤題名、事実と主張で最も言いたいことに着目することを通して、要旨をまとめる。	○固有種が教えてくれることは何か、事実と主張で最も言いたいことは何かに着目することで、要旨をまとめることができる。	
三 ②	⑥読者と筆者の両方の立場から考えることを通して、資料の効果を明らかにする。	○読者の立場から資料②が文章のどの部分をわかりやすくしているのか資料の効果を明らかにし、その後筆者の立場から資料を用いた意図を探ることによって、筆者の主張に説得力をもたせる工夫を読み取ることができる。	三輪スタ（つくる） ・2つの大事なキーを位置付けた話型を提示することで、筋道立てて資料②の効果を説明することができるようにする。
	⑦読者と筆者の両方の立場で考えることを通して、中①が	●中①で固有種の貴重さを読者に納得させた上で、中②で生息環境の保護を訴	

	必要な理由を考える。	え、主張につなげるという筆者の論展開の工夫を読み取ることができる。	境を保護したいと思わせる理由が書かれていることに気付くことができるようにする。
四 ①	⑧次単元を見通すことを通して、学習を振り返る。	○次単元に生かしたい述べ方の工夫を中心に学習を振り返ることができる。	三輪スタ（ふりかえる） ・振り返る視点を提示することによって、次単元「グラフや表を用いて書こう」に生かすための振り返りを行うことができるようにする。

5 本時の授業評価指標（ルーブリック）

三輪スタンダードで重視する段階（ふかめる段階）			
筆者の立場で主張と中①の関係を見直させるための発問を行うことで、中①には、読者が環境を保護したいと思わせる理由が書かれていることに気付くことができるようにする。			
評価項目	C	B	A
ねらいの達成状況	固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることに気付くことができる。	固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることで、固有種がすむ環境を残さなければならぬと思えるということに気付くことができる。	固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることで、固有種がすむ環境を残さなければならぬ、中②だけだと絶滅するから環境を守るとなるが、中①があると、生き証人として貴重な存在だから、固有種がすむ環境を残さなければならぬと思えるということに気付くことができる。
目指す子どもの姿（発言・行動など）	①中①があると、固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることができる。（記述）	①中①があると、固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることができる。（記述） ②読者に納得させることができたなら、固有種がすむ環境を残す責任を感じることができる。（記述）	①中①があると、固有種が貴重な存在だということを読者に納得させることができる。（記述） ②読者に納得させることができたなら、固有種がすむ環境を残す責任を感じることができる。（記述） ③中②だけだと、絶滅するから環境を守るとなるけど、中①があると、子収取は生き証人として貴重な存在だから絶滅してはいけないということが分かり、自分たちで固有種がすむ環境を残していかなければならないと思うことができる。（記述）

評定	評定の根拠	代案

6 本時案

(1) 主眼

- 中①で固有種の貴重さを読者に納得させた上で、中②で生息環境の保護を訴え、主張につなげるという筆者の論展開の工夫を読み取ることができる。

(2) 日時 令和2年10月30日(金) 第5校時 於：第5学年〇組教室

(3) 学習の展開 (45分)

	主な学習活動と内容	三輪スタの工夫	分
であう	<p>1. 中①と中②の重要性を比較し、本時のめあてを持つ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>中②は、固有種を絶滅から保護することが書かれており、筆者の主張につながるから重要だ。</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p>中①は、主張に直接つながるから重要なのかな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>中①がなくても伝わるけど、中①は必要なのかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者は、何のために中①を書いたのだろう。</p> </div>	<p>○文章構成図を用いることで、中②だけでも文章は成り立つことを確認し、本時の課題を持つことができるようにする。</p>	⑧
つくる	<p>2. 中①が必要な理由について自分の考えを書き、全体で交流する。</p> <p>【キー】○中①と主張とつなぐ ○もし中①がなかったら～(仮定して) ○もし中②だけなら～</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主張】 数万から数百万年もの間生き続けてきた固有種は、生物の進化や日本列島の成り立ちの生き証人としてきちょうな存在です。また、日本列島のゆたかで多様な自然環境が守られていることのおかげでもあります。その固有種は、この日本でしか生きていくことができません。ですから、わたしたちは、固有種がすむ日本の環境をできる限り残していかなければなりません。それが、日本にくらすわたしたちの責任なのではないでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・もし中①がなかったら、固有種が貴重な存在だということが伝わらない。 ・もし中②だけなら、ニホンオオカミなど絶滅した固有種の例だけになり、数万から数百万年もの間生き続けてきたとは言えなくなる。 	<p>○キーを提示することで、読者の立場で、中①がなければ、固有種が貴重な存在であると伝わらなくなることに気付かせ、キーの視点で考えを濁くことができるようにする。</p>	⑬
ふかめる	<p>3. 筆者が主張の中で最も伝えたい環境保護との関連から、中①を書いた理由を話し合う。 考えを再構築する活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>固有種がすむ日本の環境をできる限り残していかなければなりません。ということを伝えたいのに、固有種が貴重であるという説明は必要なのか。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: flex;"> <div style="width: 45%;"> <p>中①は、必要。固有種が貴重な存在だということを読者に納得させれば、固有種がすむ環境を残していく責任を感じられる。</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p>必要。中②だけだと固有種が絶滅するから環境を残すとなるけど、中①があると、生き証人として貴重な存在だから絶滅してはならず、固有種がすむ環境を残さなければならぬと思える。</p> </div> </div>	<p>○筆者の立場で主張と中①の関係を見直させるための発問を行うことで、中①には、読者が環境を保護したいと思わせる理由が書かれていることに気付くことができるようにする。</p>	⑰
ふりかえる	<p>4. 学びを振り返る活動を行う。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返り、自分の言葉で本時学習をまとめ、交流することで、学級としてのまとめを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>固有種がきちょうな存在だということを読者に納得させることで、自分たちで固有種がすむ環境を残していかなければならぬと思えるように中①を書いた。</p> </div> <p>(2) 本時学習の振り返りを記述する。</p>	<p>○まとめに繋がる内容を確認することで、学習内容を押しえられるようにする。</p> <p>○プラス1の振り返りの視点を提示することで、自分の学びを自覚できるようにする。</p>	⑦

